

救世の勇者のやり部屋

III

R-18
成人向け

Ver. M
original





ほんとう
本当にこんな森の中に
おらっしゃるんですか？



そこらの輩に
簡単に見付かる
ような場所に
建つとるわけなからう

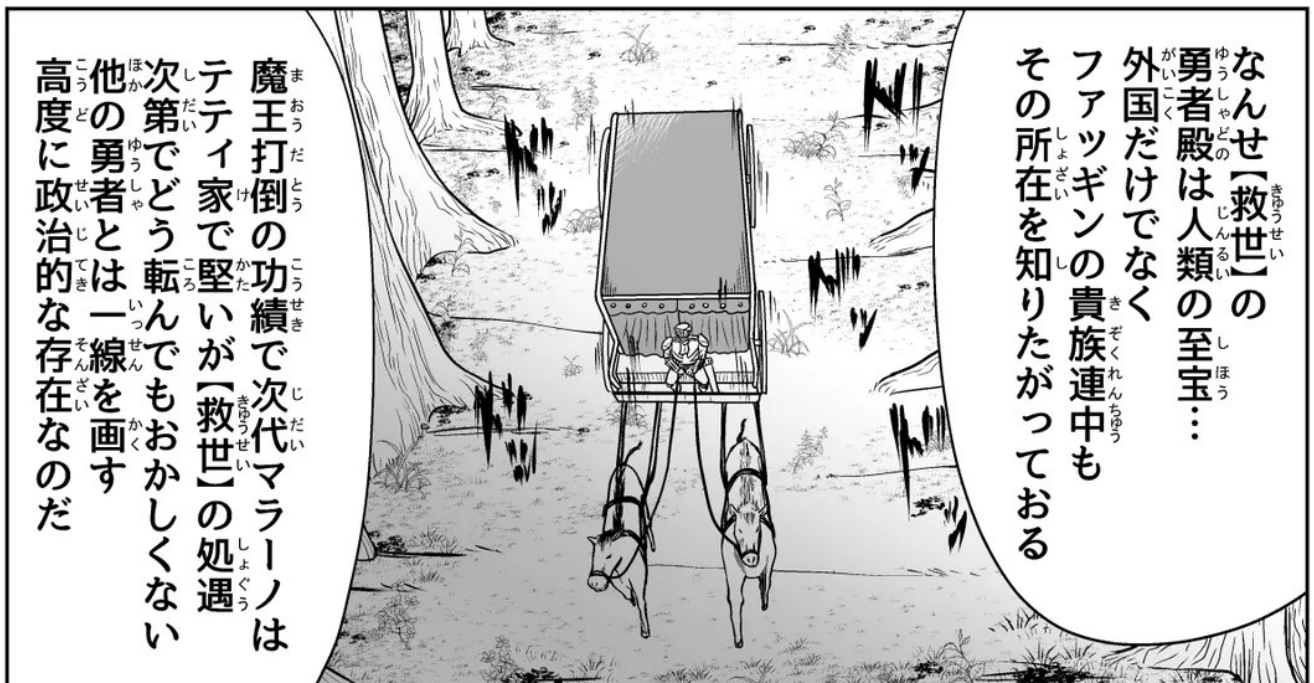
マグワインの館は
王室の最重要
極秘事項だ

ファッギン公国 大臣
ケーモン



もうここは人類領域の外…
いつ魔物と遭遇しても
おかしくありませんよ…

ファッギン公国
正規兵団 兵団長
レイプス



なんせ「救世」の
勇者殿は人類の至宝…
外国だけでなく
ファッギンの貴族連中も
その所在を知りたがっておる

魔王打倒の功績で次代マラーノは
テイ家で堅いが「救世」の処遇
次第でどう転んでもおかしくない
他の勇者とは一線を画す
高度に政治的な存在なのだ

おい
馬の速度を緩めろ

はっ…

しかし依然木しか
無い所ですが…

館は突然現れる

我々が向かって
いる場所は
魔女の住む…

いや

ばけ物たちの
棲まう館だ



救世の勇者のやり部屋
III





ありがとう...
ありっ ありっ

モイッ
助かったあ!

活きの良い
お皿つスねッ



ほっ!



は〜私樹人だから
アストラルの通つてない物
わっかんないですよ〜
磁器...?
石じやん...
木器じや
だめなの...?

あーりや

へな
へなへな



なるほど...

これくらいのかで
軽く支えてあげて
灰汁で汚れを
落とすんス



わっ

濡れた磁器は
滑るっスから
優しく持つんスよ

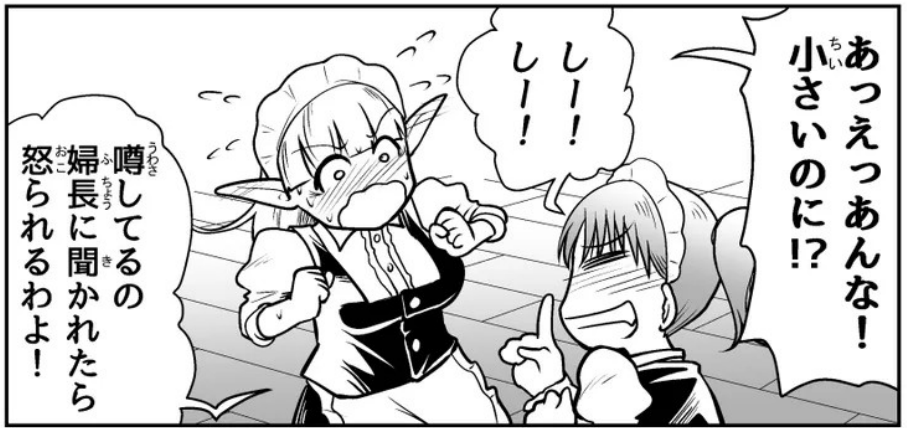




あんな
小さいのに...

あつ

あつ



あつえつあんな!
小さいのに!?

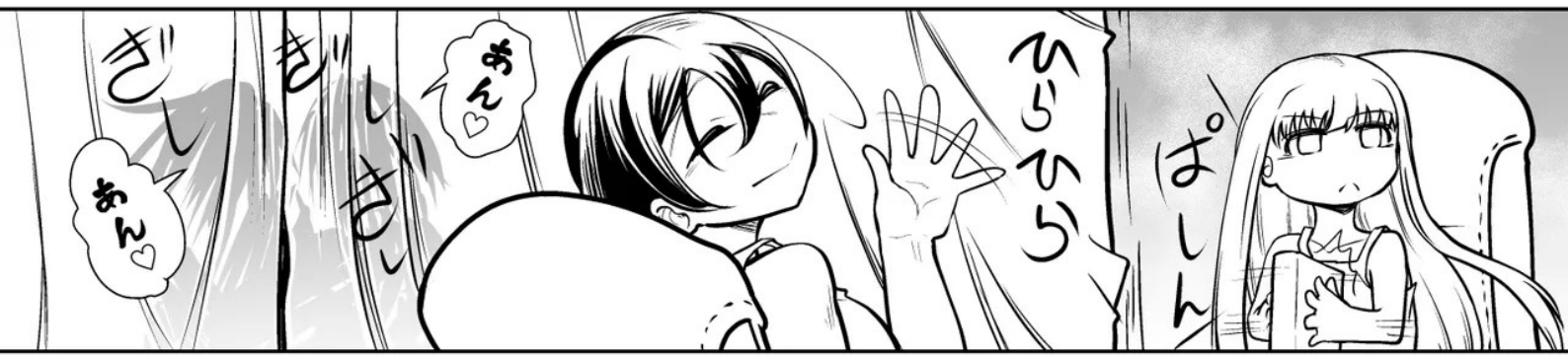
しー!
しー!

噂してるの
婦長に聞かれたら
怒られるわよ!



性交...
してるんだ...

失礼しますっす...



ぎん

ぎん

ひらひら

よしん



はい! 頑張っ
てらっしゃいますよ

ス

ミデイの
調子はどう?



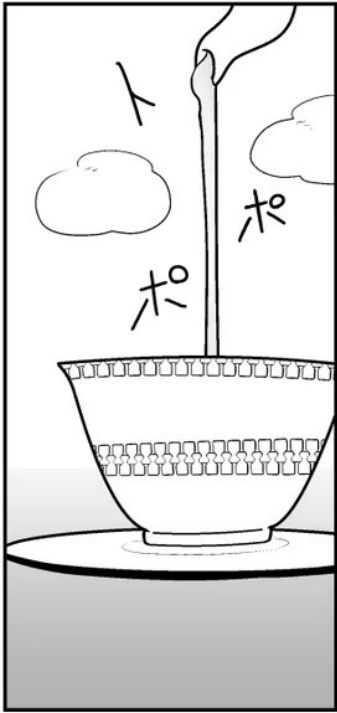
ご機嫌麗しゅう
ございます
お二方

何か
お飲みに
なりますか?

りんご

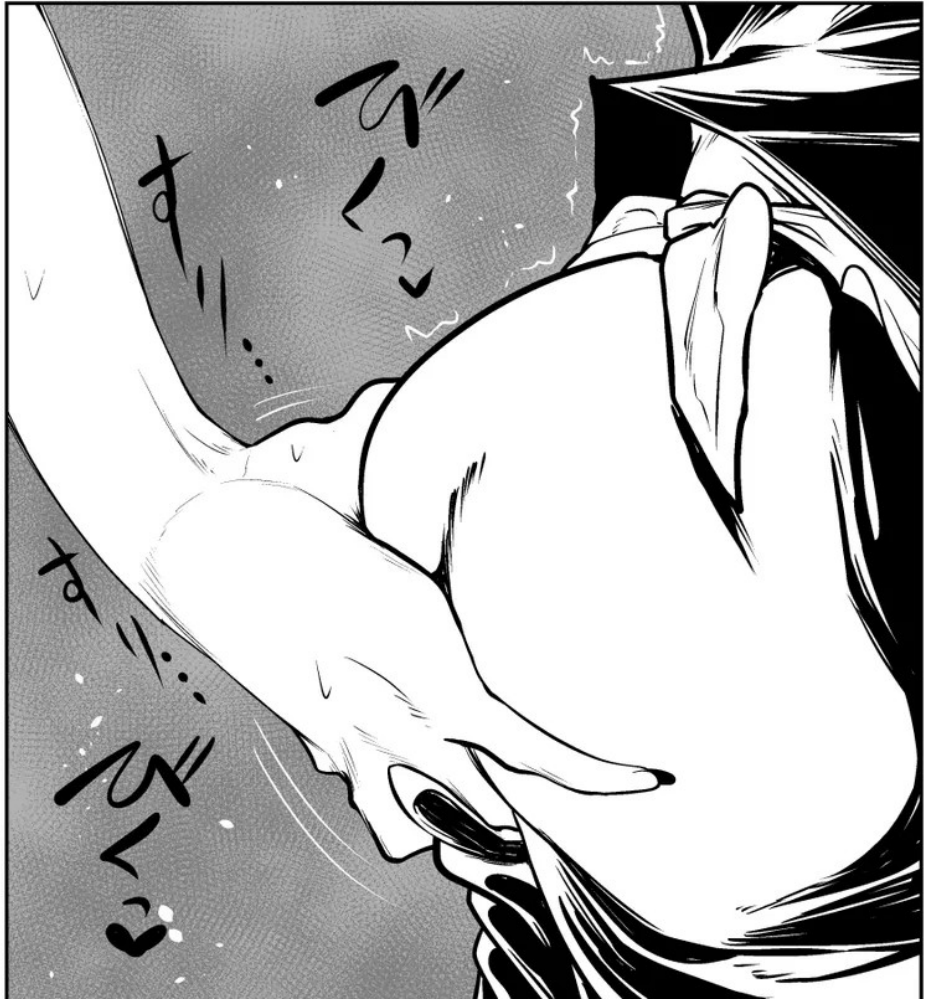
私はミルク
ティが
いいな

かしこまりました



エメア様！
お疲れ様です

私と
ゼフォント様にも
貰える？







おめいなとあこ♡

エッチな子ど
ごめんなとあこ♡

きもち
気持ちよくなつて
ごめんなとあこ♡

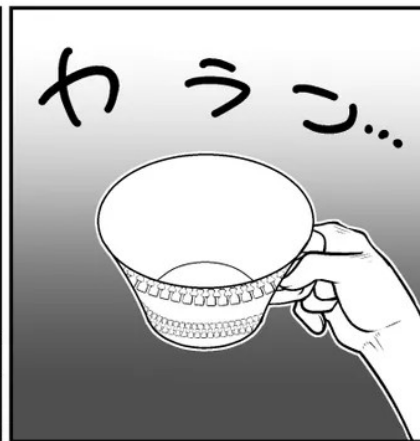
モイ
イクよ

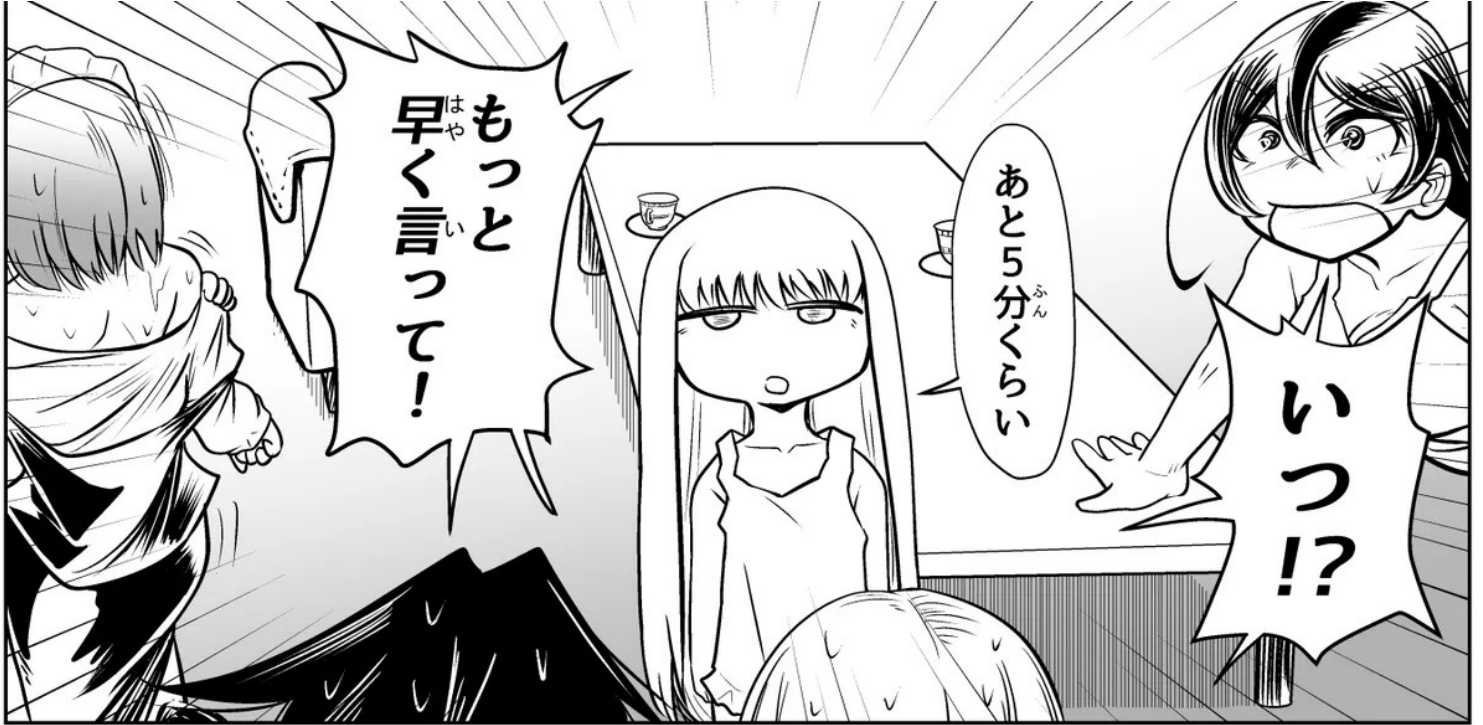
待^まつ♡
だめ!

だめんなわこっ!
だめんなわこっ!
だめんなわこっ!

ぎゅっ♡









なんか
いやらしいわね
そーなんよ
このおっちゃん
昔から

すみません...

いえ...

カチン☆むっ



【救世】の勇者様に
於かれましては
「お忙しい」身で
ありましようから

押し掛けたのは
こちらです
お気に留めぬよう
願います

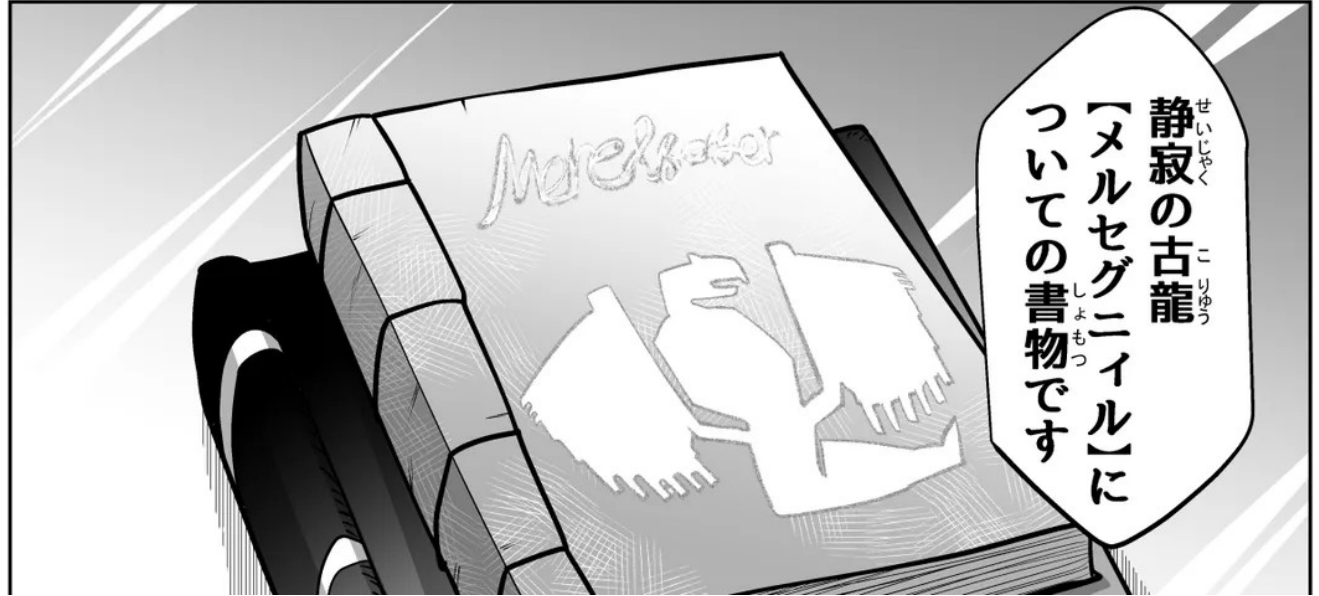


こちらを
ご覧ください



シナリオエンカウンター
人の世の危機で
ございます

さて、知らせも無い無作法な
訪い、それだけ急を要する
大事だと考えて頂きたい



静寂の古龍
「メルセグニール」に
ついての書物です



封印が緩み
目覚めていると

パドルファグ戦記
写本に記されました



神的存在……っ

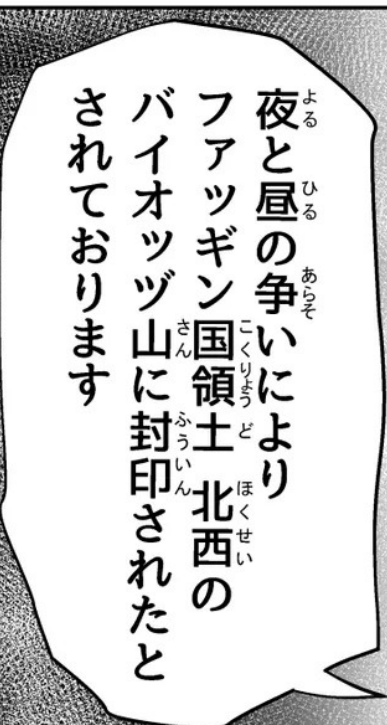


パドルファグ戦記

五百年以上前より存在している
とされる奇書。長らく空想の
歴史書だと見做されていたが、
綴られたその文章が事実を
示していると明らかになり、
国の重要参考書物として
管理される事となった。

物語調で書き記されている
その文章は、人智を超えた
魔導の力で現代まで自動書記で
更新され続けている。

現在では同等の機能を備えた
写本が三冊遺されており、
原本の行方は不明となっている。
三冊の写本はそれぞれ
ファツギン公国、
聖都センクシアン、
スポヌーボ帝国が所持している。



夜と昼の争いにより
ファツギン国領土北西の
バイオツツ山に封印されたと
されております



静寂の古龍は現存する
最後の神的存在ですが……

ちよつと待った
国防は軍の管轄でしょ

先に私たちに頼むのは
筋違いってもんよ

……
位置関係
ですね？



左様でございます

バイオツツ山は
ファツギン国領域際の端

スヘルマ海

メカノフェーア領土

バイオツツ山

ファツギン公国領土

バイオツツ山を越えた
北側に鈍人国家
『メカノフェーア』があり

現状の鈍人国との国交上
そこに軍を移動させるのは
挑発行為と捉えかねません

古龍復活の根拠は
パドルファグ所有国しか
わからない…

これは
厄介ね…

「ファツギンは『救世』を独占
している」という態度を見せる
諸国も少なくありませんが

これは私共も
本意であります

「静寂」は
人類にとつて
共通の脅威

「救世」の勇者が
世界の危機に
立ち向かう、
それは人類世界の
平安を謳う事と
なりましょう



この
エロジジイ
嫌なところ
突くな…

ぬぐぐ…

ゼフォント様!

駄目です

ブン
ブン

ブン
ブン

……

わかりました

僕が
【静寂の古龍】を
討ちます

もお〜!!
聞くことないのに!





それでも人々の暮らしの上で生きてるんだ

必要な時に僕だけ遊んでるわけにはいかない



ゼフオントは奉迎って立場なんだからファツギンの要請に応える義務は無いんだよ!?



もおお〜 真面目ちゃんめえ〜!

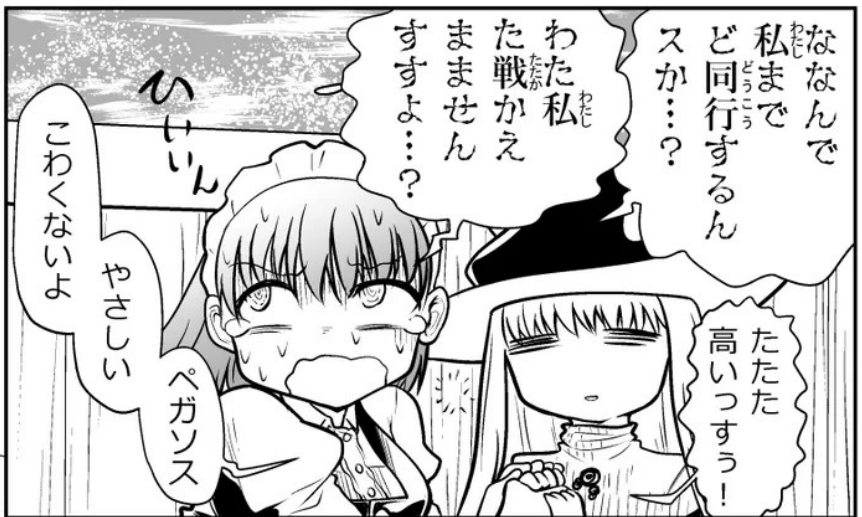
あの〜...



大丈夫 危ない目には遭わせないよ

……今日は館に帰るには遅くなりそうだからね…

むっ



ななんで私までど同行するんすか…?

わたし私た戦かえまませんすすよ…?

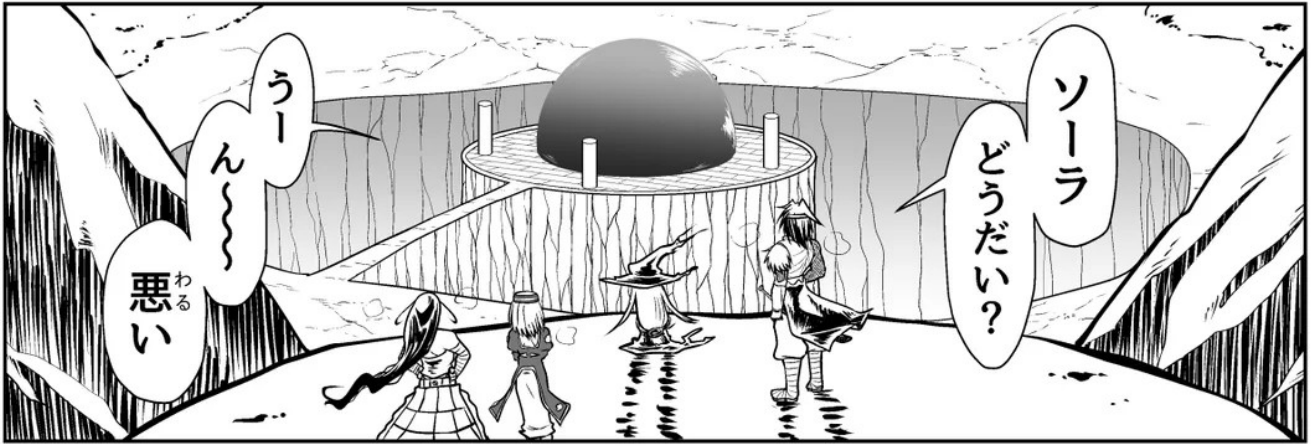
ひーいん

こわくないよ

やせしん ペガソス

たたた 高いっすう!





救世の勇者のやり部屋
III

神的存在

まず最初に男がいた。男には愛する女がいた。
女も男を愛していたが、蛇が女を拐かし、ひとつに交わった。
怒り狂った男は、女を天とし、蛇を地とした。
二つは永遠に分かたれた。

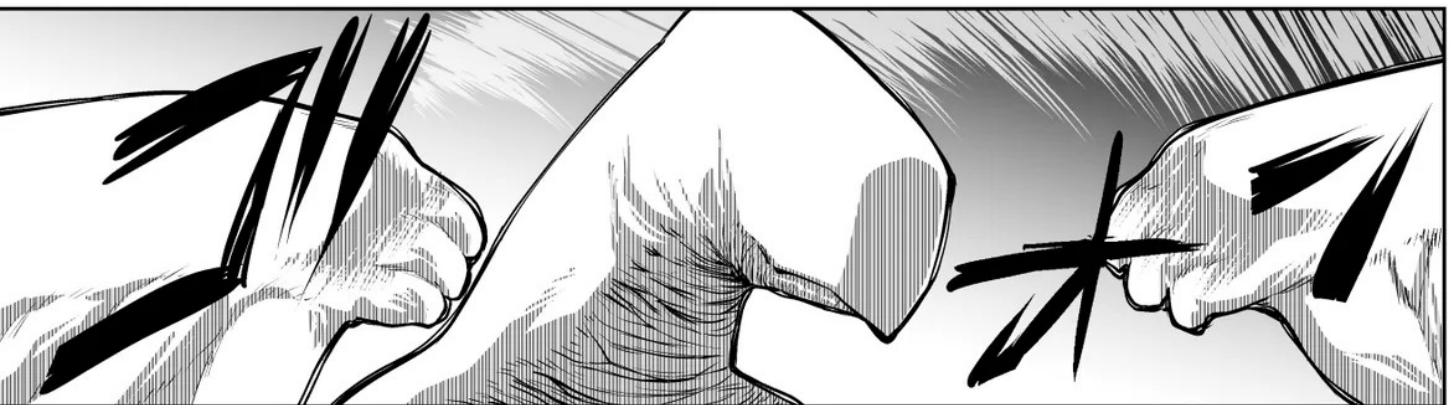
憤りが支配する天と地の狭間。
闇が契約を結び、虚ろを埋めた。
安寧で男を包み、怒りを鎮めた。

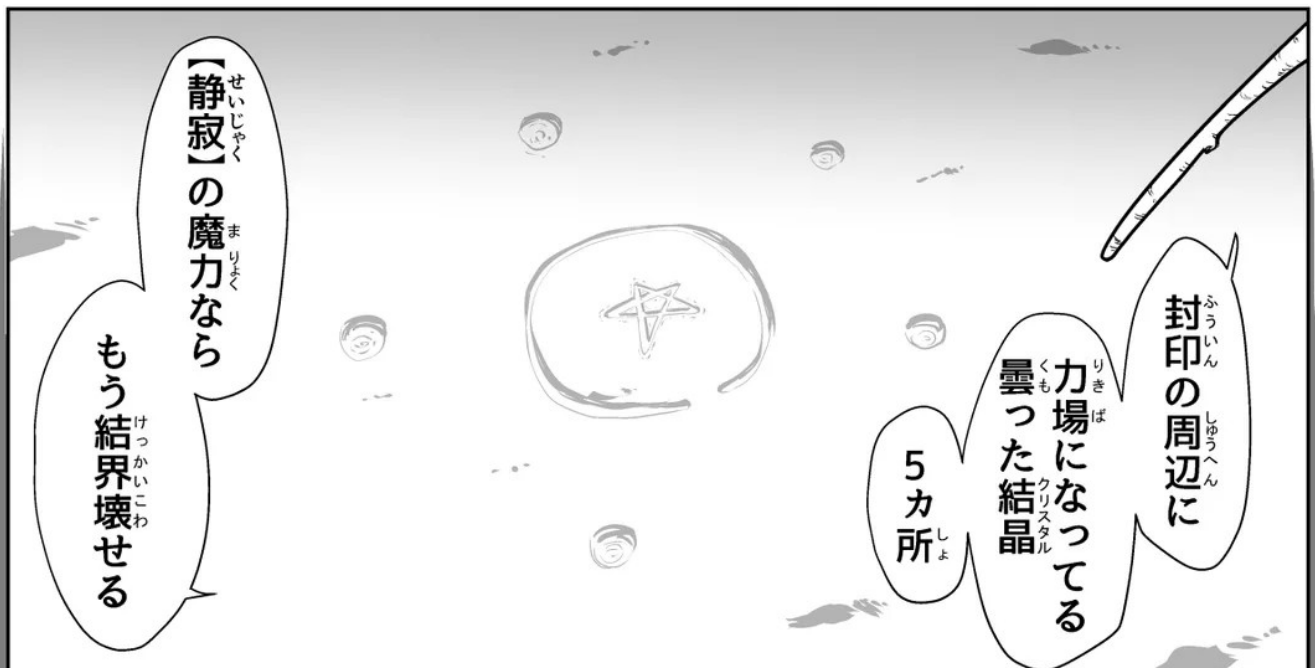
光が新たに契約を結んだ。
明かりが天と地を照らした。
営みが起り、男の淋しさを慰めた。

光に切り裂かれた闇が声を荒げる。
先に契約を結んだのはこちらだ、と——。

闇に遮られた光が胸を張る。
こちらの方が役に立つ、と——。

闇と光の争い。
世界に夜と昼が始まった。





【静寂】の魔力なら

もう結界壊せる

封印の周辺に

力場になつてる
曇った結晶

5カ所



奴はなぜ
結界から出ない？

わからない

寝惚けてるか

何か
待ってるか

：わからない以上は
気分次第だと
思った方がいいな

結界ごと古龍を
ソーラの火力で
押し潰すのは？

結界弱まって
んでしょ？

その強さの火砲の発動に
どれくらい掛かる？

多分だけど

数秒の溜め

「静寂」だけなら
殺せる

結界と
両方は無理

逆に向こうは

結界もぼくも
一緒に殺せる

その時は
みんなも
判ると思う

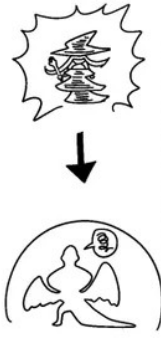
よし
マリアーテ

外の力場を
破壊して周ってくれ

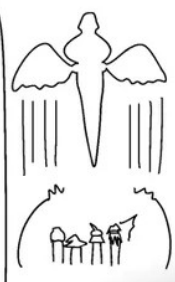
その間にソーラは
結界の真上で詠唱
封印が晴れ次第
古龍を撃つ

エメアは結界の
近くで僕の補助を

僕は結界の中で
奴の気を引く



ソーラを外に置けば奴は
結界を利用せざるを得ない



いやそれだと
古龍に逃げ道を
与えてしまう



私ら全員で
結界に入ろう

同感だね

危険です
ゼフォント様!

!

それなら互いに
助け合えて
ソーラの火力が
通る



.....なら
中に入るのは私だ

わざわざ力場を
壊し回らなくても

あなたの剣で
結界を割りなよ

黒刀では
あの規模の結界は
断ち斬れない

精々穴を開ける
程度だな

それに
君の能力では
古龍に疵を
与えられても

生き延びる
のは難しい



もう君だけの
体じゃないだろ



気を遣われ
たくない...!!

そういう事で...



マリアーテ様
ご妊娠
なされてたん
ですか!?

来ちゃだめ
いやないか...





私^わたちは…
魔王^{まおう}との戦^{たたか}いで
仲間^{なかま}を一人^{ひとり}
失^うってるの



し!
心配^{しんぱい}ない
っすよ!
だって魔王^{まおう}も
倒^{たお}した勇者^{ゆうしゃ}様^{さま}達^{たち}
っすもん!
上手^{うま}く行^いき
ますって!



それ^{それ}ならマリア^{マリア}ア^アーテ^アと
連携^{れんけい}が取^とれます!

他^{ほか}の冒険^{ぼうけん}者^{しゃ}を雇^{やと}って
周^{まわ}りの力^{ちから}場^ばを
壊^{こわ}して貰^{もら}いませう

ゼフ^{ゼフ}オン^{オン}ト様^{さま}!



なら
もう!!
私^わたち^{たち}の
手^てには余^{あま}るって
こと^{こと}ですよ!



下^げ山^{ざん}するにも
通^とり^りが^がか^かる^るの^のを
待^まつ^つに^にも
時^じ間^{かん}が^が掛^かかる
その間^{あいだ} 奴^{やつ}が
動^{うご}か^かない^{ない}保^ほ証^{しょう}は
ど^どこ^こに^にも^も無^ない

大丈夫だ

別に破れかぶれで立案したわけじゃない

クリスタルを壊しきるのにペガサスを使えば5分ほど

全部壊さなくとも途中で境界が晴れるかもしれない

これは全員が生きて帰る為の作戦

その為にエメア... 君には辛い役目を強いる

どうか僕を

信じてくれ

【救世】の勇者が 振るう大白刀

魔力的衝撃を吸収し 刀身から発生させる特性を持つ



いつかい
一介の冒険者が片腕で
握るには大きすぎる大太刀の

やいばぜんたい
刃全体から延長される
必断の白刃

なみ
並の魔物ならば

りようだん
両断は

ひっ
必至

せいじやく
【静叔】の古龍は
とつじよあわ
突如現れた
この平人を

きんじい
脅威と認識した

ハッ...



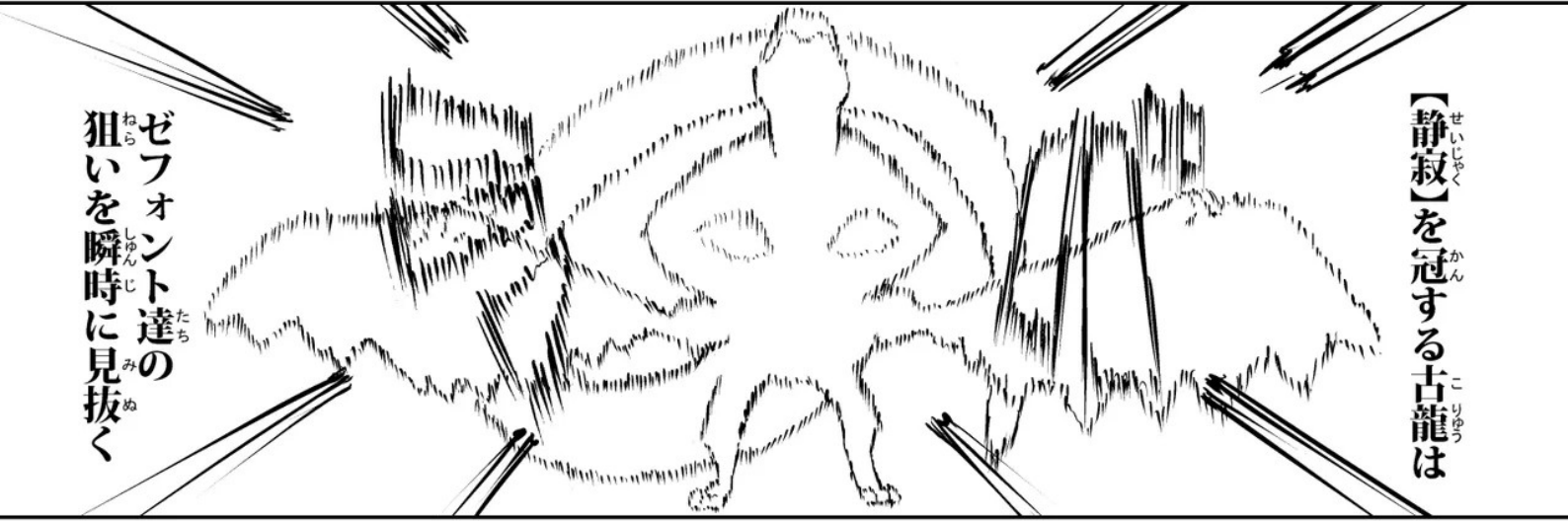
ずじょう
頭に座する
アストラル
魔力の奔流



けっかい
結界の元を
はかい
破壊して周る
はくば
白馬の女
おんな



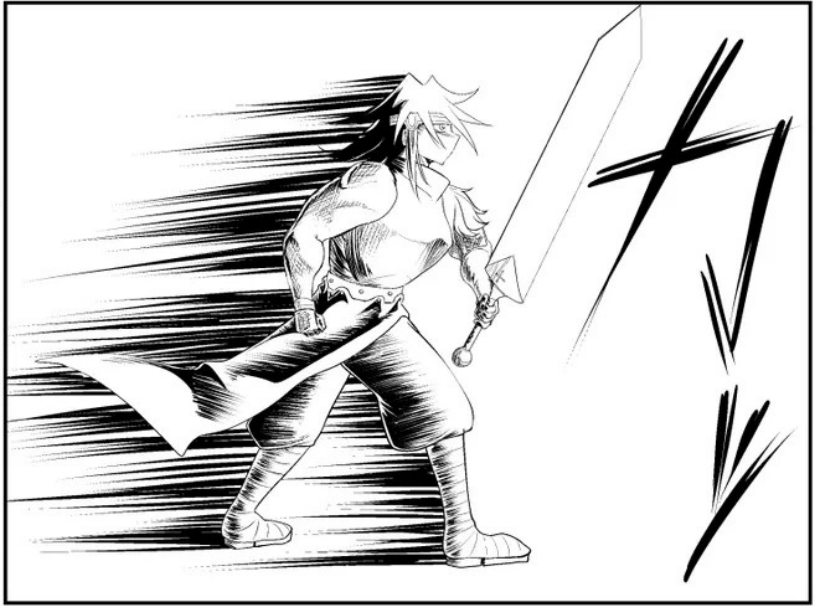
せいじやく
【静寂】を冠する古龍は
こりゆう



ねら
狙いを瞬時に見抜く
しゆんじ
ゼフオント達の
たち



こうわ
光話！



こうわ
光話とは

じゆうい
上位存在が引き起こす
高度な心的現象である。


そこで交わされる対話は
瞬きの間の出来事。

嘘や偽りは効かず、

怒号に威圧される
事もなく、

暴力に遮られず、


そこに在るのは
互いの意識のみ




二つの脚で立つ者よ
此の方の玉の緒を欲すか
欲深なる者よ
過ぐを求めらば
失うは身一つでは
済まぬと知れ




この世界の祖よ
地に立ち
空を背負う者たちの
代表として偃武を乞う




奏でし者よ
愛らしい静寂に
放埒に増えたるは
貴様らの業




命脈を仇なさぬと
誓うならば
こちらも矛を
収めよう



不埒な行いには
罰が下る
此の方の羽搏きが
六極世界最後の
轟きなりや



ならば：
また人は罪を
背負う事になる



あなたの死を以て
この危機を脱す

父祖ふそより賜りたまわし人々ひとびとの世よを救すくう為ため



この愚おろかな蛮行ばんこうを許ゆるしたまえ

ひかり
光が は 晴れる

世界が色を取り戻した
その0.2秒後

ゼフオントの立っていた場所に
雨のような炎が降り注ぐ



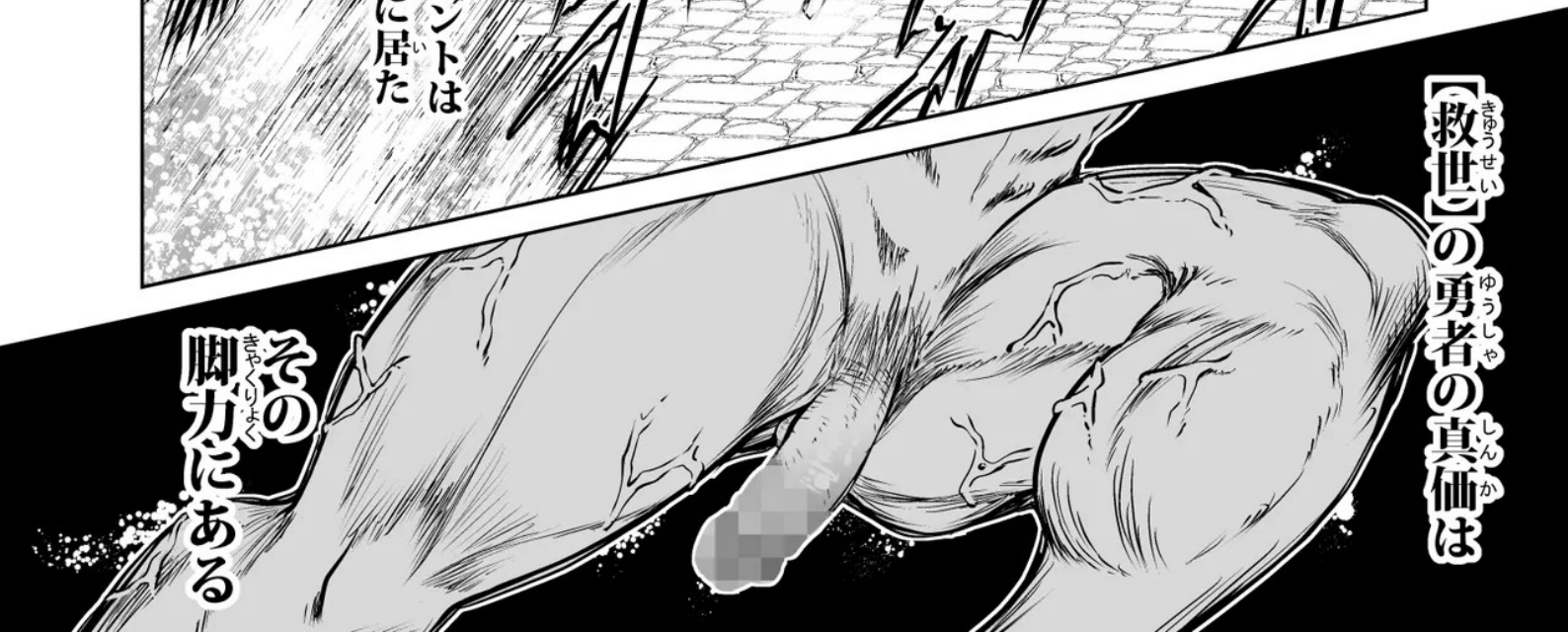
空気を焼く
炎の音が
目的の未達を
知らせる

その時、ゼフオントは
「静寂」の足元に居た



その
脚力にある

「救世」の勇者の真価は



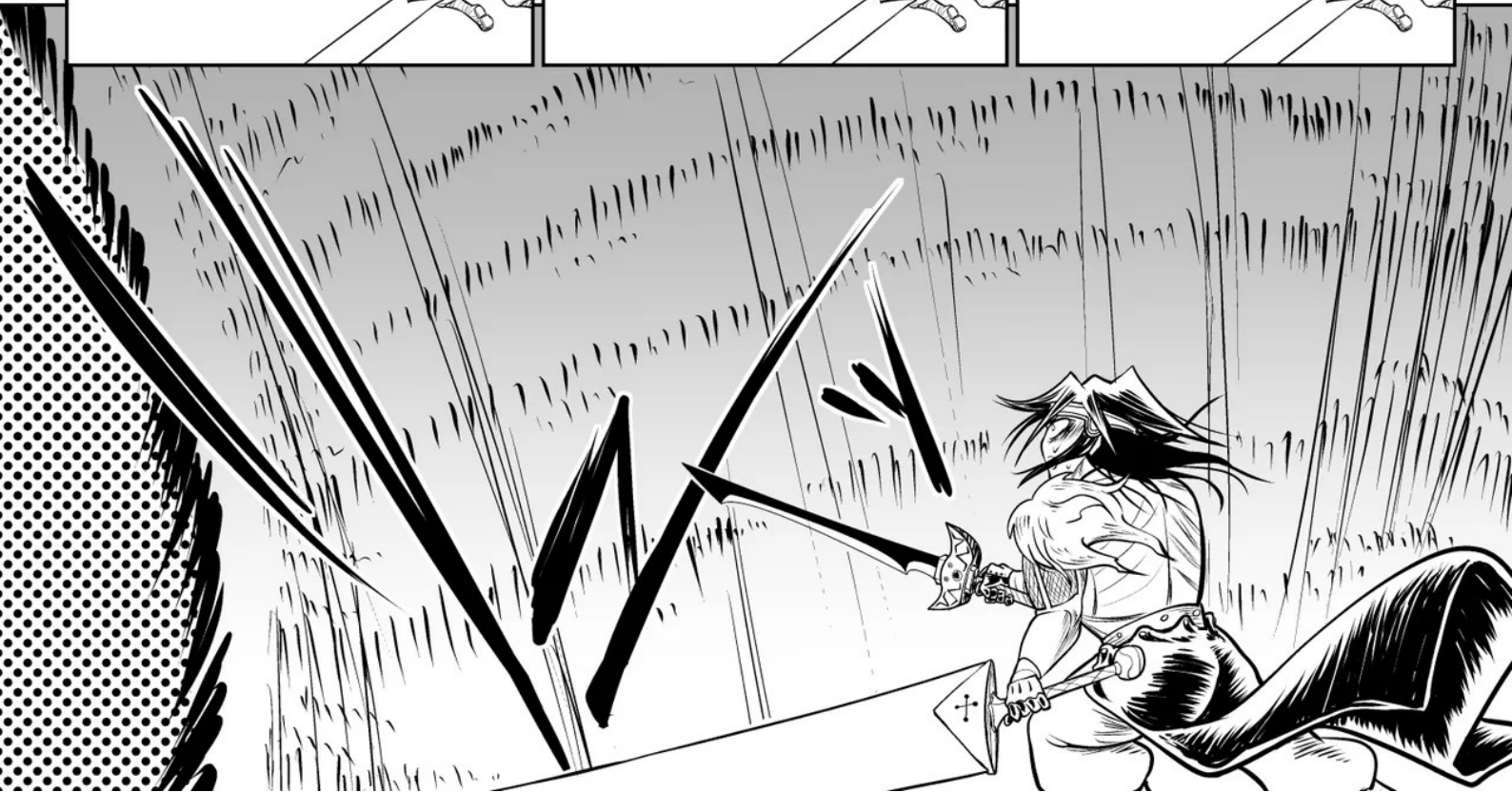
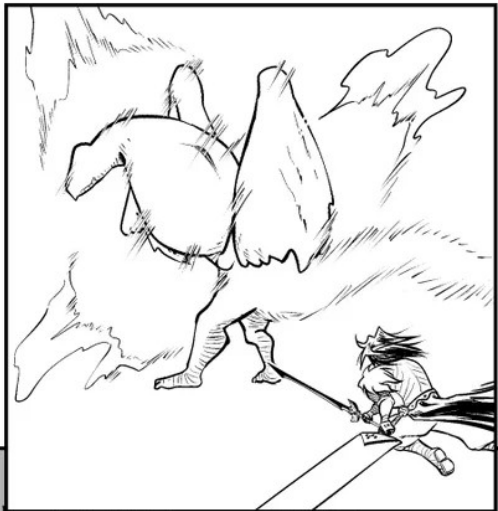
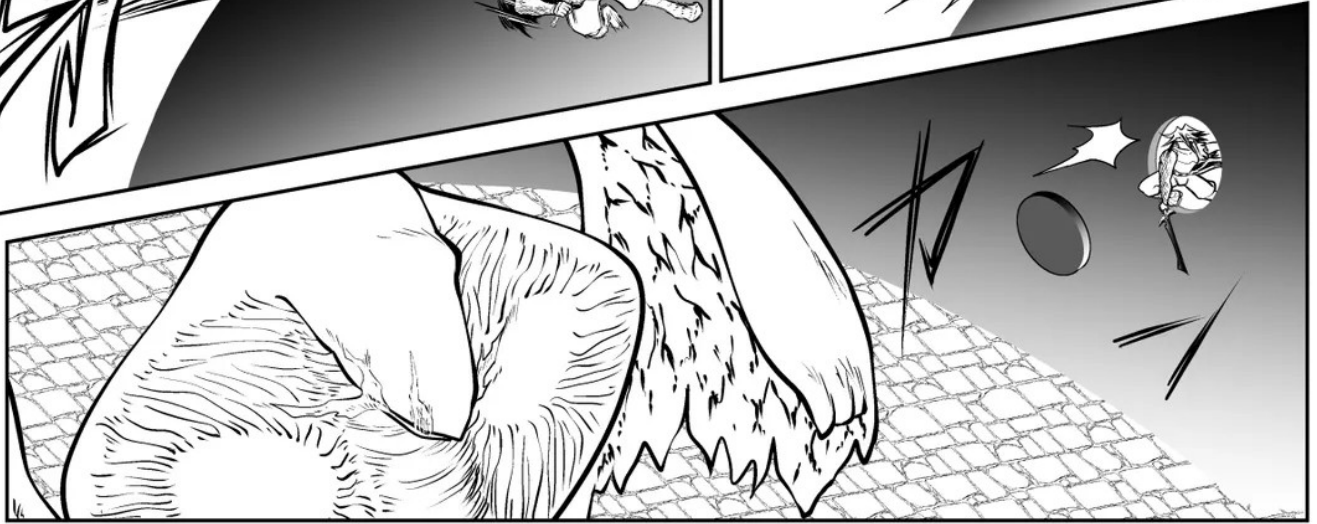
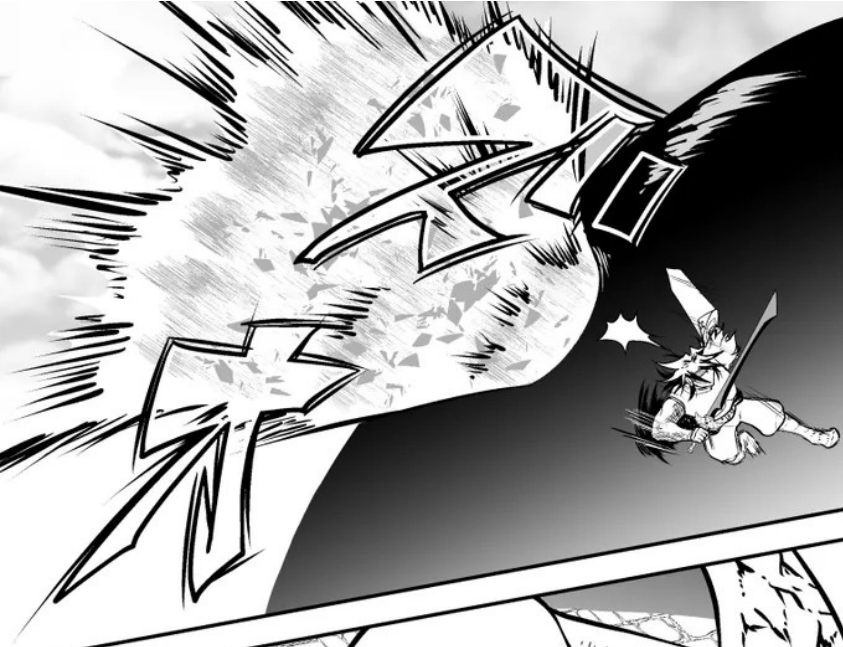
誰よりも速く
何よりも疾く

振り降ろされる凶刃が
牙無き者に届くよりも速く

そう願った
駆け続けた両の脚は

旅が終る頃には
常軌を逸していた







しかし
その機動力も

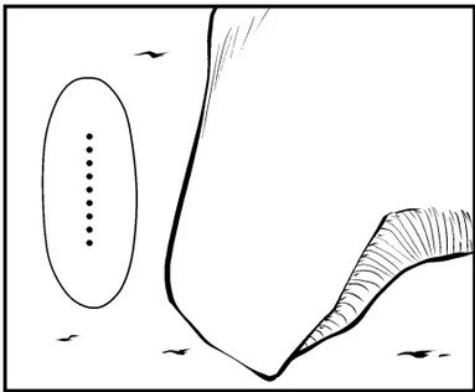
古龍との戦いでは
ただ体格差を
埋める程度の
スキルでしかなく
技能でしかなく

そんな
存在の圧倒的な差は
埋まらない



「クリティカル
決定打を受けない」
たったそれだけの
勝利条件であっても

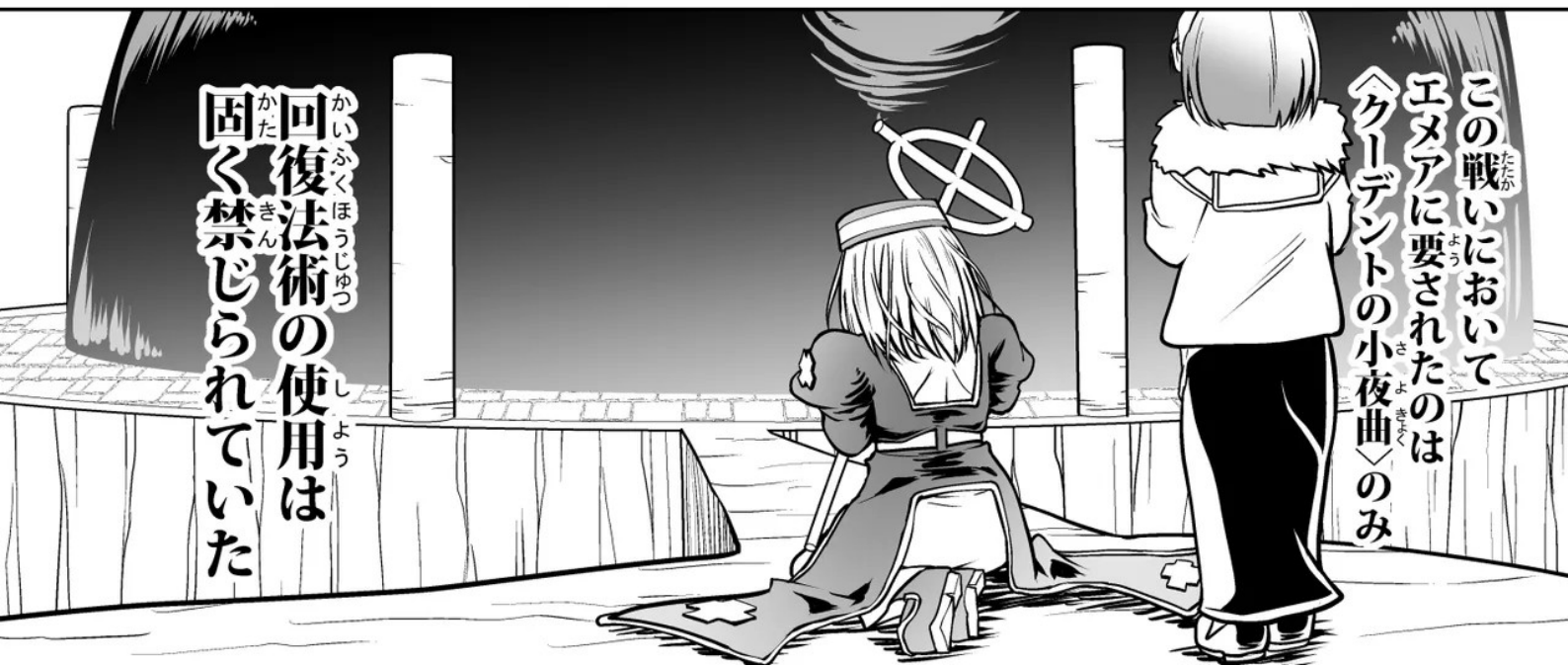
ゼフォントの消耗は
遥かに大きい



回復法術 + 活性化法術
『クーデントの小夜曲』

被術者の体力を
消費せず疲労や痛みを
和らげる術法である

ゼフオントの首に掛かる
装飾品により離れた場所
への適用が可能となる



この戦いにおいて
エメアに要されたのは
『クーデントの小夜曲』のみ

回復法術の使用は
固く禁じられていた

法術(ほうじゆ)ってすごいんですね

あんなに血(ち)がどぼどぼ
だったのに跡形(あとがた)も
無(な)くなってるっス

そんな大(たい)した
もんじやないわよ

治(なお)してるのは結局(けつぎゆく)
あなた自身(じしん)の体(からだ)だもの

魔法(まほう)で治(なお)して
るんじや
ないんすか?

アストラル
魔力(まじり)で
治癒力(ちゆりき)を増幅(ぞうぷく)
してるだけよ

つまり
回復(かいふく)には本人(ほんにん)の
体力(たいりき)が必要(ひつよう)なの

当日(とうじつ) あなた口(くち)も
回(まわ)らないくらい
へろへろだった
でしょう?

あの傷(きず)の修復(しゆふく)には
それくらい体力(たいりき)が
消費(しょうひ)されたって事(こと)ね

前(ぜん)回(かい)みたいなの
平時(へいじ)なら問題(もんだい)
ないけど

たとえば戦闘中(せんとうちゆう)に
あんなへろへろに
なっちゃったら困(こま)る

そして何(なに)より
体力(たいりき)が無い(な)のに
過剰(かじよう)に回復(かいふく)させたら

場合(ばあい)によっては
死(し)んでしまう
事(こと)もある

事前(じぜん)に相手(あいて)の身体(からだ)を診察(さんさ)して
おかなければいけないし

勿論(もちろん)死(し)んでしまったら
回復(かいふく)なんて出来(でき)ない

私の(わしの)
「うん」...

その上(うえ)でどの位(くらい)
回復(かいふく)させるか
その時々(ときどき)の判断(はんだん)が
私(わたし)たち神職(しんしやく)の腕(うで)の
見所(みどころ)になるわ

ちなみにこの館(やぐら)の人間(にんげん)は
もう「診察(さんさ)」済みだから

いつ大怪我(おおげが)しても
だいじょうぶよ

いくら疲労を取り除こうと

いくら致命傷を避けようと

古龍と人との戦いである以上
すべての傷は免れない



巨軀に碎かれ弾けた岩は

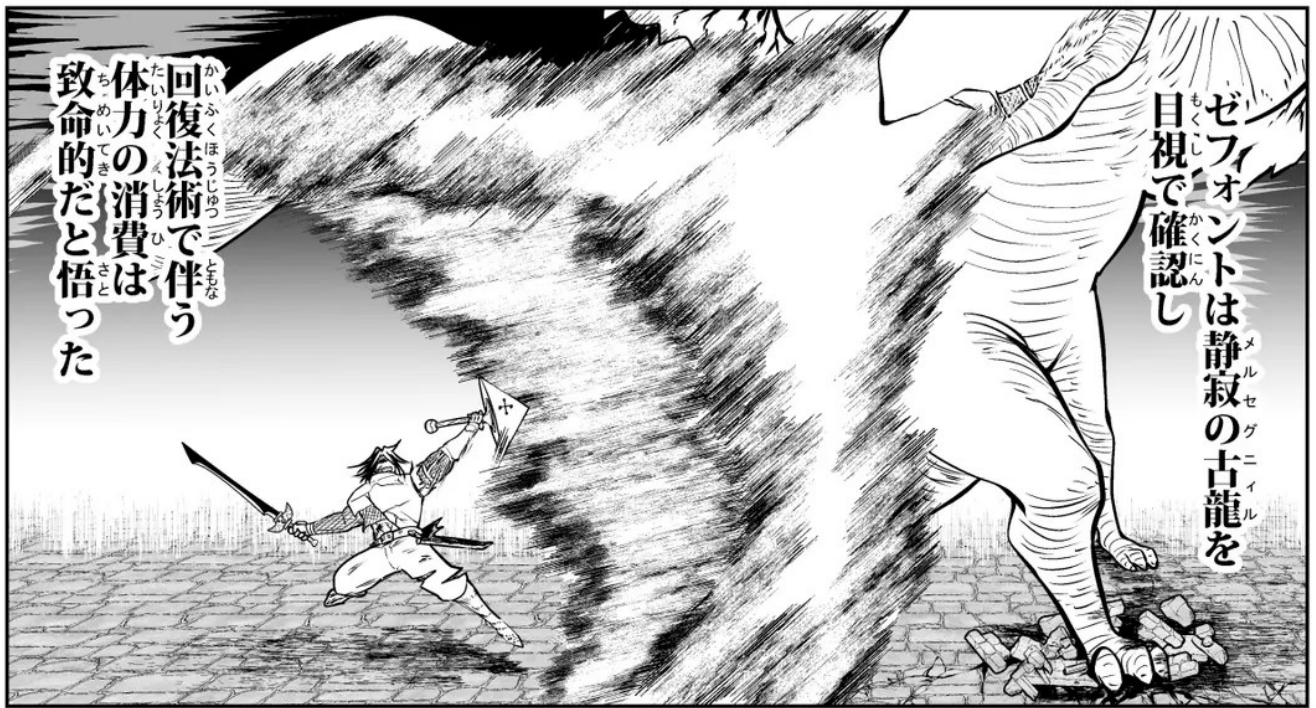
細かく勇者の
肉にめり込み
骨を叩く

大地の悲鳴の
ような轟音は
疾うに彼の聴力を
奪っている

灼熱の息吹は
当たらずとも空を燃やし

それを吸えば臓腑は焼け
通るだけで肌を焦がす





ゼフィオントは静寂の古龍を
目視で確認し

回復法術で伴う
体力の消費は
致命的だと悟った



故に

— エメア…

君には
辛い役目を強いる

求める



耐え忍び

どうか僕を

成し遂げてくれと

信じてくれ

彼女を信じて

かぶ
被り過ぎです
!!!!

か
買いつ
か
か
か



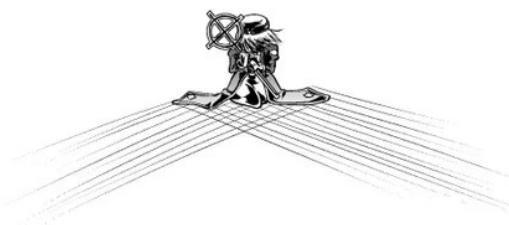
痛みを和らげる
と言っても
限度がある...!

エメア様...

何より傷を治して
ないから新しい
痛みが次から
次へと襲って
きてるんでしょ!?

苦痛で
脚が縛れれば

それで終わり
なんですよ!?





エメア様!?

回復法術で
死なない程度に
ゼフォント様の
体力を奪う!



私は
ゼフォント様
さえいればっ

こんな世界
どうなろうと
知ったこっちゃ
ない!!!



ソーラとマリアーテに
作戦の中止を告げ
結界内に呼ぶ!



動けない
ゼフォント様を
ペガサスに乗せる

何としても
ゼフォント様だけは
生きて逃がす!



誰が
死のうと

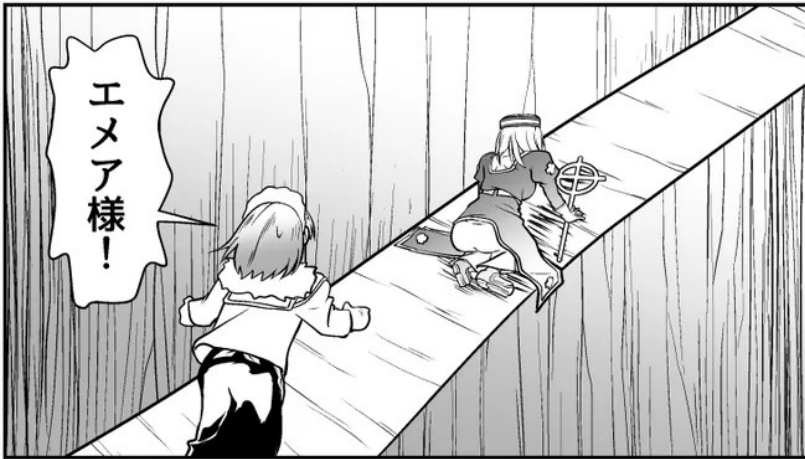
私たちの内



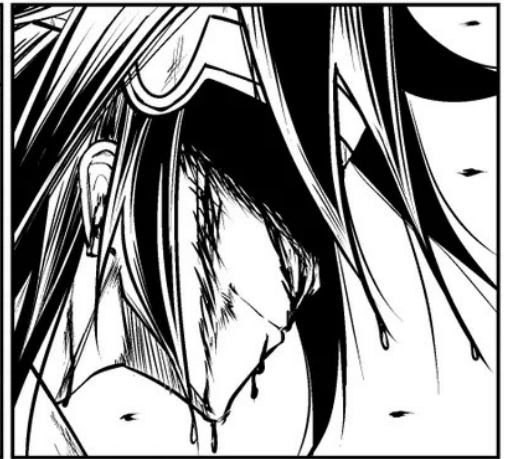
『小夜曲』

『ゲーデントの』

アアアア



エメア様！



ゼフオントが
けっかい
結界に入り
はい
ぶん
3分46秒



だめ…
あの人は…
どう
なるごとも…
戦うのを
やめないもの…

両鼓膜破損
左前腕火傷
右前腕完全骨折
左小指完全骨折
右側頭骨不全骨折
第9から第10右肋骨不全骨折

気道火傷
右下腿火傷



左前腕不全骨折
左大腕不全骨折
左下腿骨三カ所疲労骨折
右下腿骨四カ所疲労骨折
裂傷九カ所打撲数多

右上腕不全骨折
右肩関節脱臼

古龍との一対一
この光景は
当然の結果と言える

すでに意識を保つのがやっとの満身創痍

未だ結界は晴れず……

黒々とぶ厚い結界の内部を視認する術をエメアは持っていないが、



魔力を通す装飾品を通じてゼフォントの状態を正確に把握していた

そして結界の解除を担っているマリアーテが



ペガサスの背から飛び降り

4つ目の力場を破壊するも

クリスタル

はかい

けっかい
な
無かつた
けっかい
は
結界が晴れる事は
こと



マ……
リアーテ……
それで……
4……つ目？
まだ……
けっかい
結界……

残……て
まだ……
あ……と……
1つ……？



だめ……もう……
もう………保たない……
ゼフオ……ト……さま……
もう………

も………
間に………あ
合わな……





ああ!!

ティクタク
リリツク
忙しげに

鳥も兎も
一束矢の如く

理に
手を掛けるか

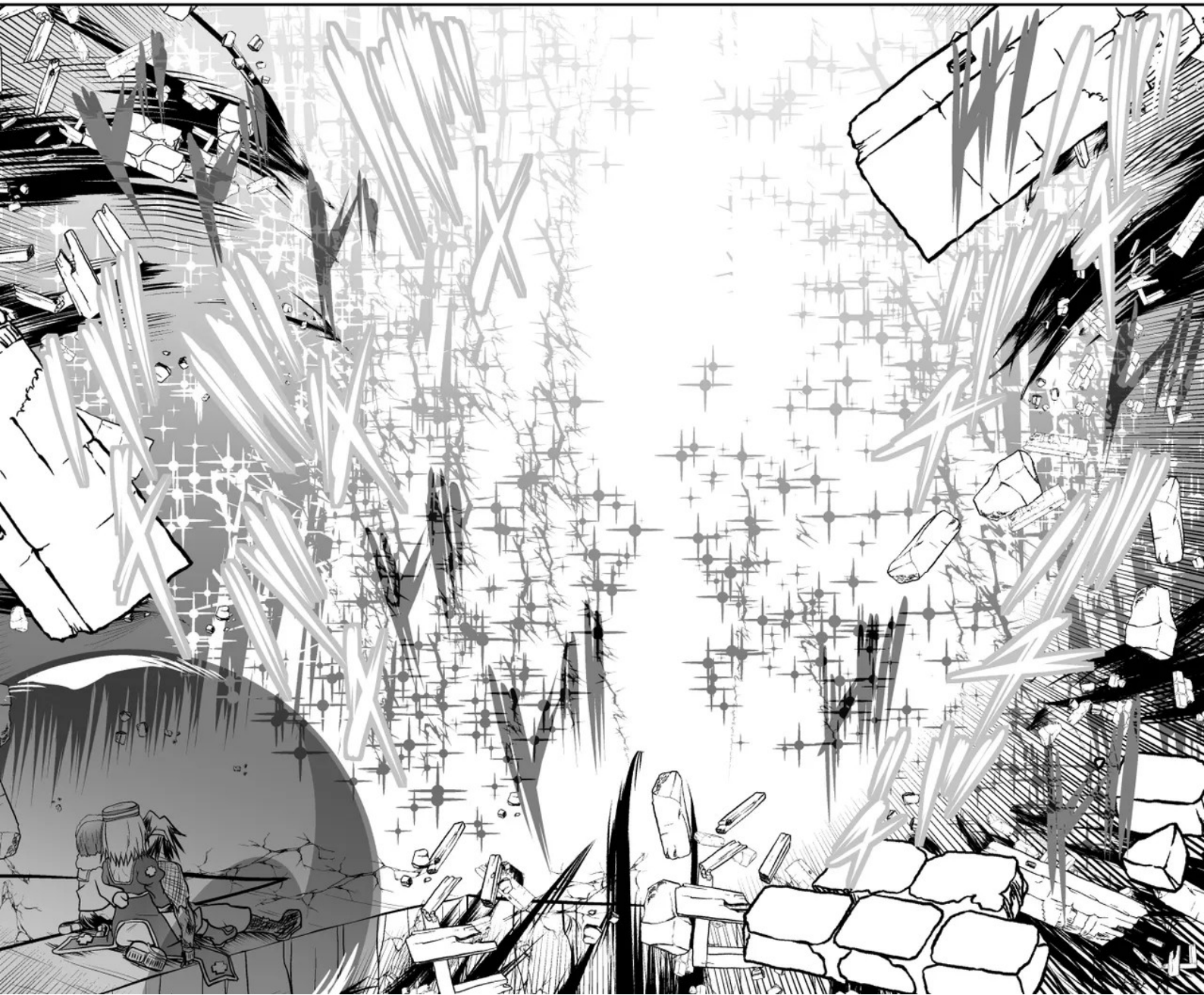
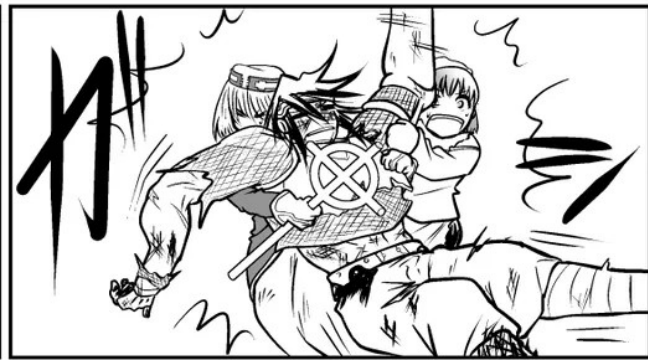
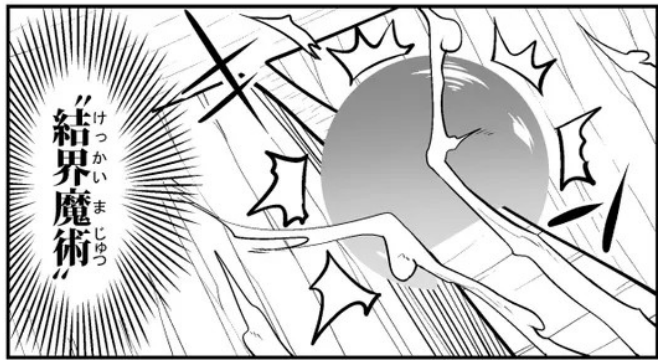
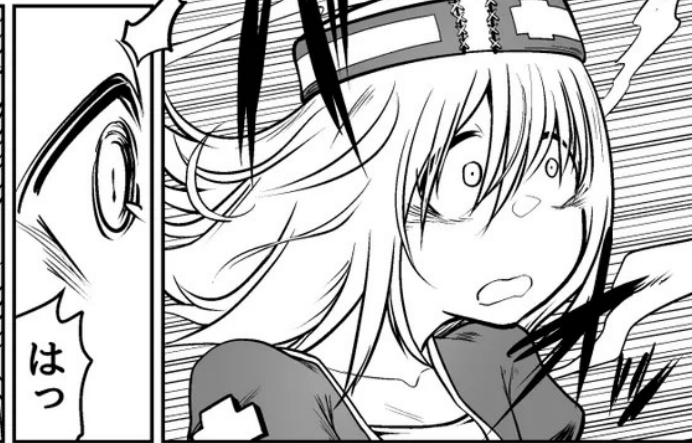
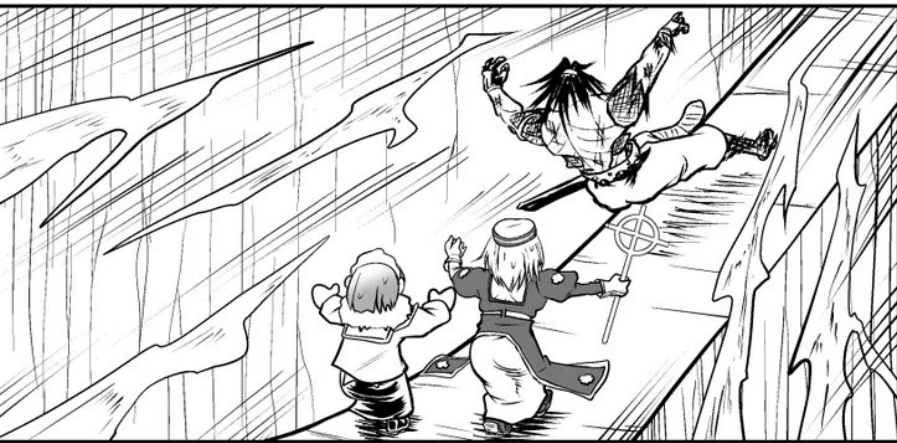
勇者よ

見事だ



往^{ヅル}歳^ヴ來^エ歳^ス
往^{ヅル}歳^ヴ來^エ歳^ス





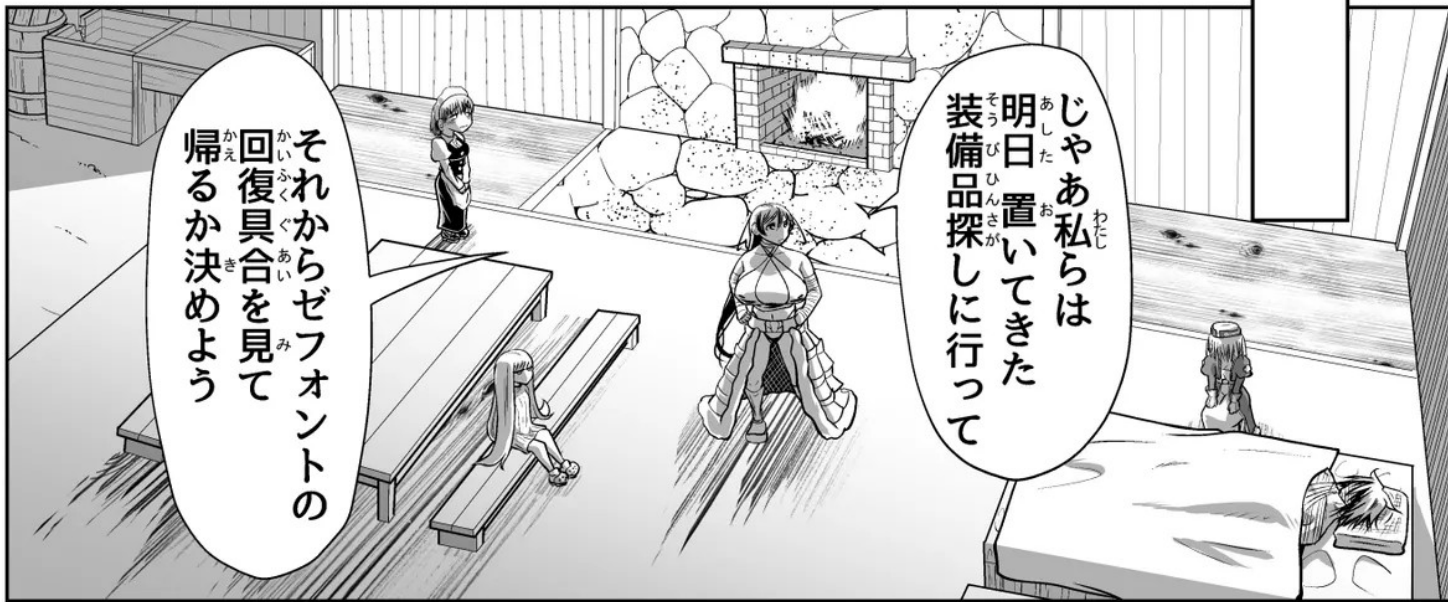
その日、イーロジナス大陸に轟音が鳴り響いた。

それは神話の時代の終わりを意味し、

同時に、人による魔法の時代の到来、

戦乱の訪れを告げる鐘の音であった。

パドルファグ戦記の静寂を破る音より引用



それからゼフォントの
回復具合を見て
帰るか決めよう

じゃあ私らは
明日置いてきた
装備品探しに行つて



エメア
抱え込ま
ないの

ぐい



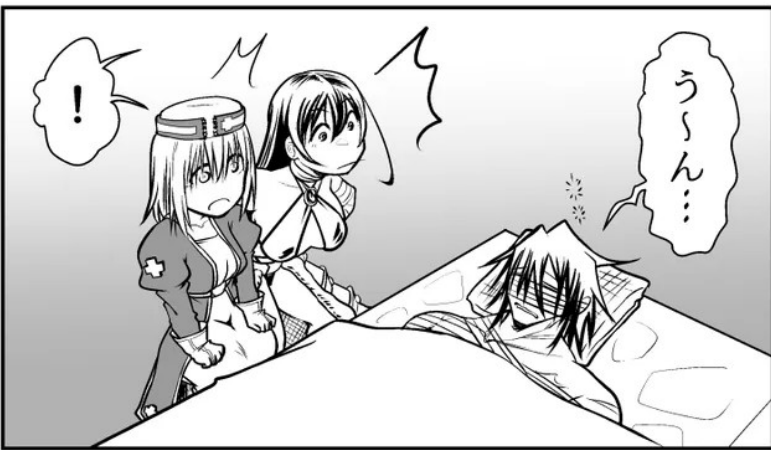
私たちの内
誰が死のうと

……ごめんね



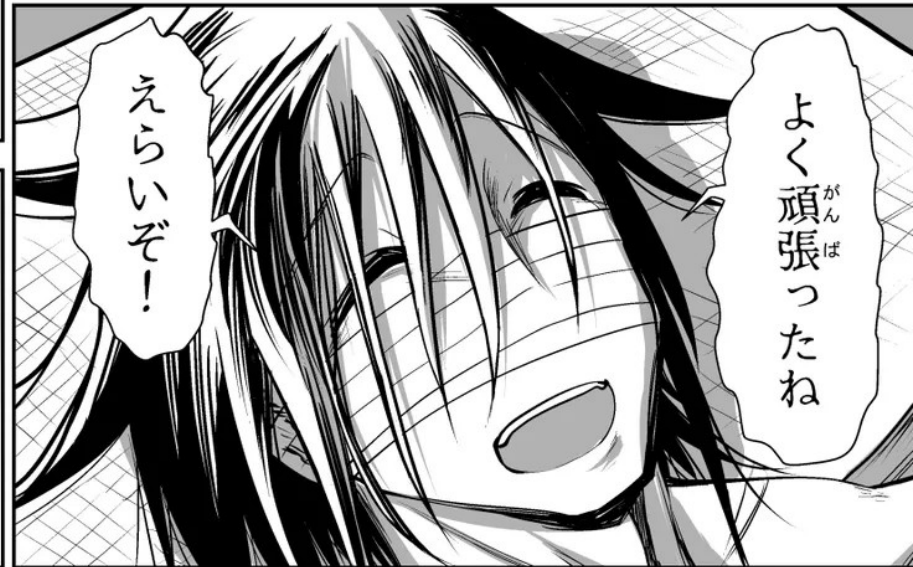
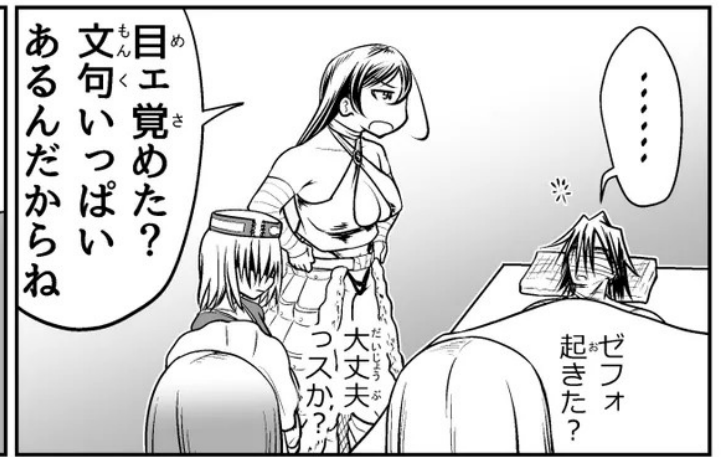
そうして
くれてた方が

私たちも
気が楽だったよ



うん…

!





あつえく…
先ほどパドルフアグが
更新されました…

つおあつ
出る出る！

うおっ
すんません！
大変失礼をつ！

あゝ
いいからいいから
用件は？

はちゅー
はちゅー
はちゅー

あつごめん
聞いてなかった

もっかい
言つて

…はい

はへえ
救世殿は
上手く
やったか

はっ
よかつた
よかつた

気分
いいから
ご飯食べて
くる

その子
好きに
していいよ

え!?

へへっ
ツイてる〜！

気持ち
いい〜！

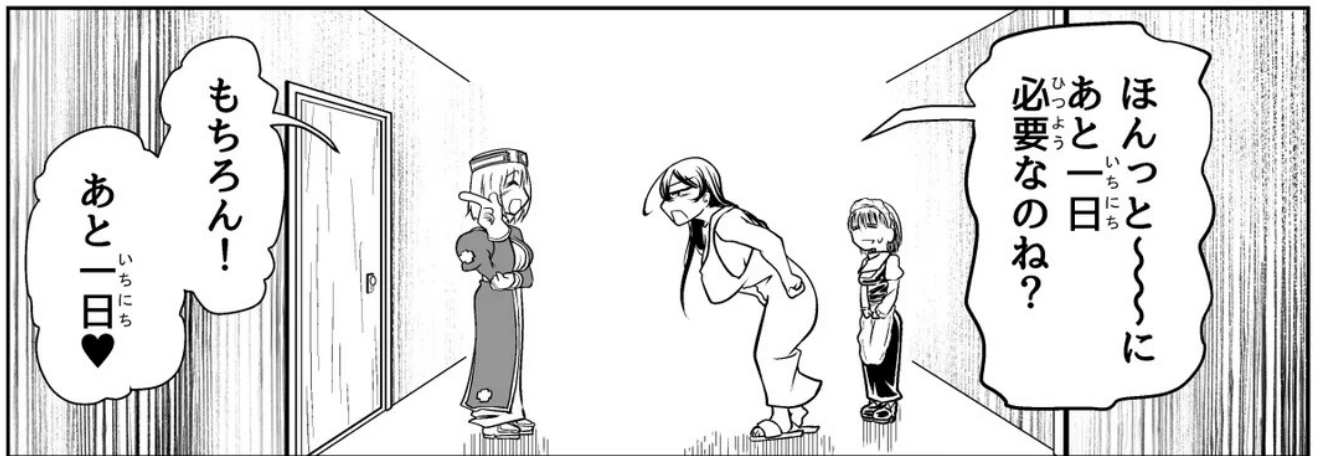
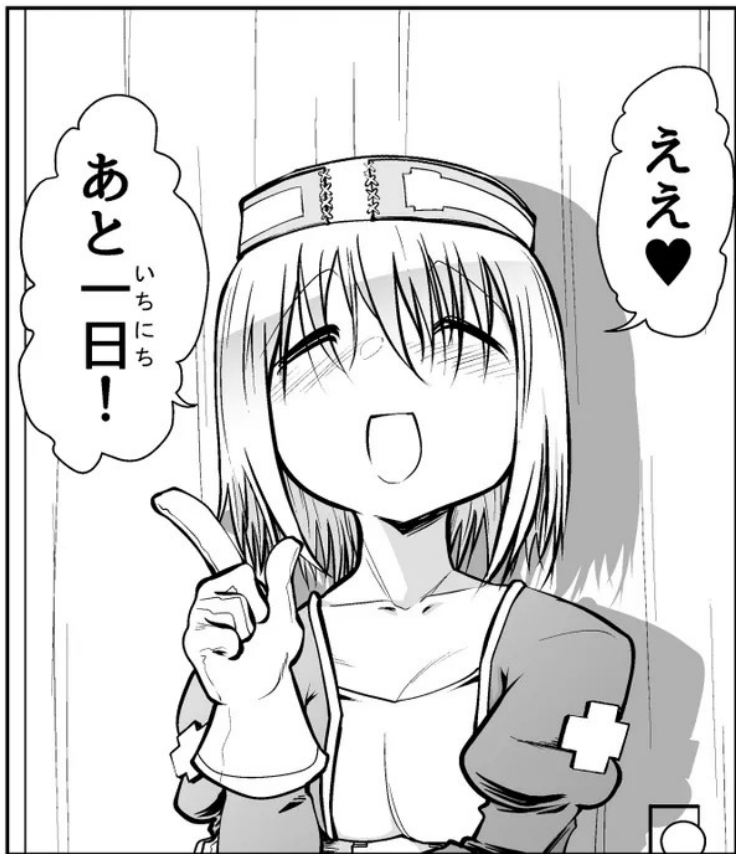
はちゅー
はちゅー
はちゅー

これでファツギンは
救世の力を掌握している
と諸国に暗示できる

ご主人様♡
また妊娠
しちゃつてい♡

メカノフエアアの
脳筋共も強気には
出れなくなるだろう

救世の勇者のやり部屋
III







しょうがないな…

おいで

はあい♪



やゝ…
それは…
あはは

わかりますよ
だって
マリアーテの事
言つてません
でしたもん

ひどい人
なんだから…



古龍退治
こりゆうたいじ

最初から一人で
やるつもり
だったんでしょ？



エメアは…



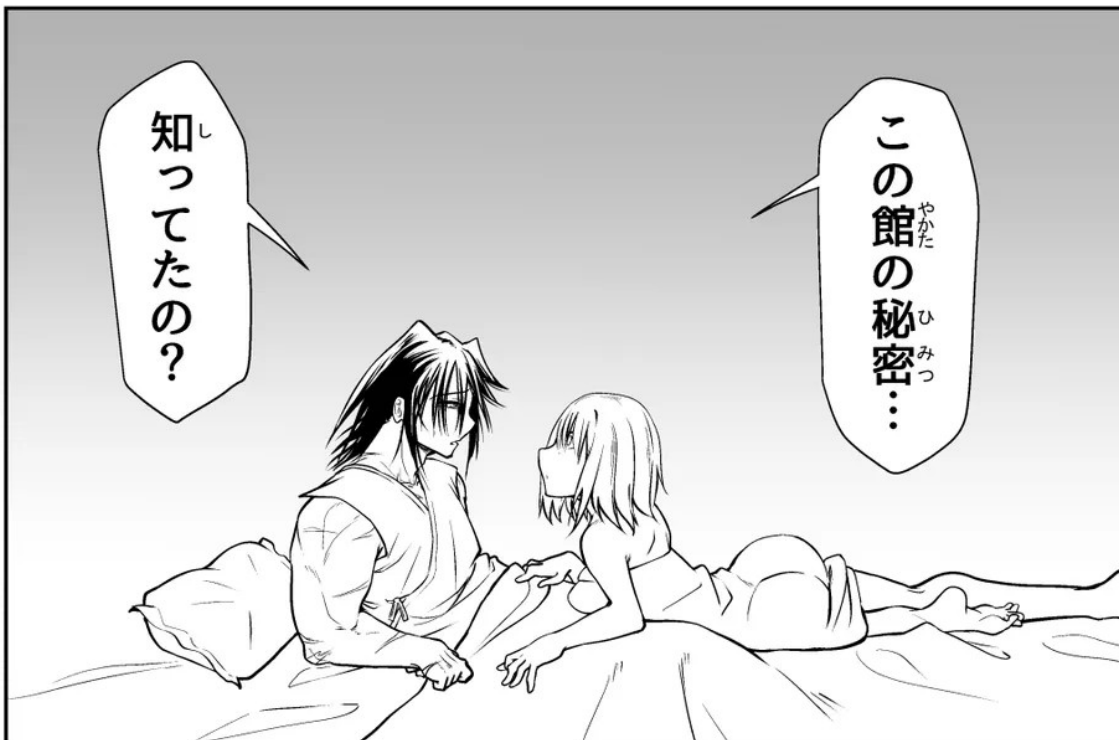
マリアーテ
しばらく
機嫌悪い
んだらうなあ

それは困る…
エメア助けて

え〜？
どくしよつかなあ♪

この館の秘密…

知ってたの？



はい…

わかって
ました



このマグワインの館に
奉公に来るあの子達が

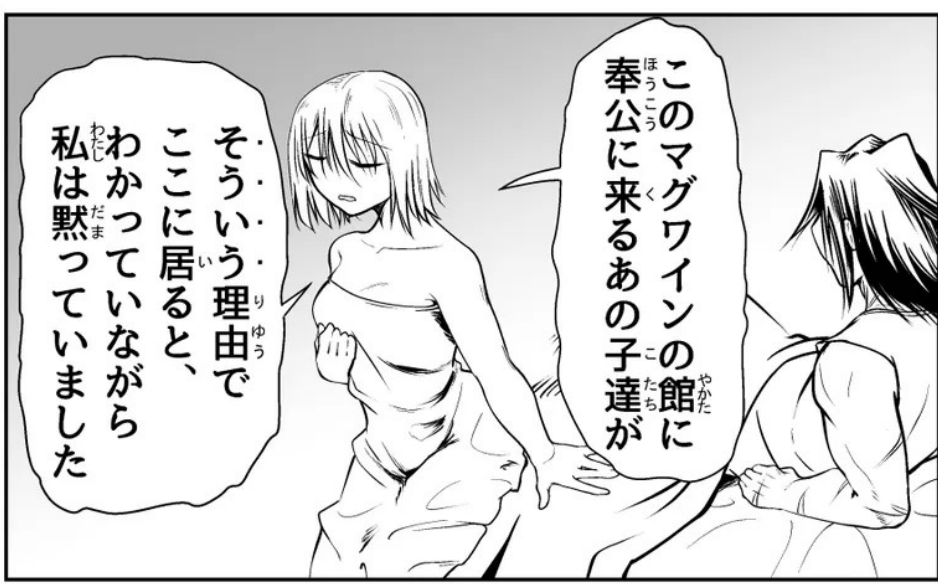
そういう理由で
ここに居ると、
わかっていながら
私は黙っていました

彼女たちは覚悟していると、
マリアーテに怒られたよ

それを知ってしまった
以上、このまま何も
しないのは卑怯な行いだ

それは…
ゼフオント様を
独占したいという
浅ましい女心
でしかありません…

僕だって…



でも…君たちを裏切るような真似はしたくないんだ…

だから…君が嫌だと
言うのなら僕は…

ファツギンを
出奔する…ですか？

そして
あなたは故郷
エンプカーを
捨てる…

いえ、私が
奪うのですね

わかった…

僕は近いうちに
彼女たちを
皆抱く



しない

でも君達を
ないがし
きみたち
蔑ろには



欲張り♡

.....



ちゅ♡
ん♡

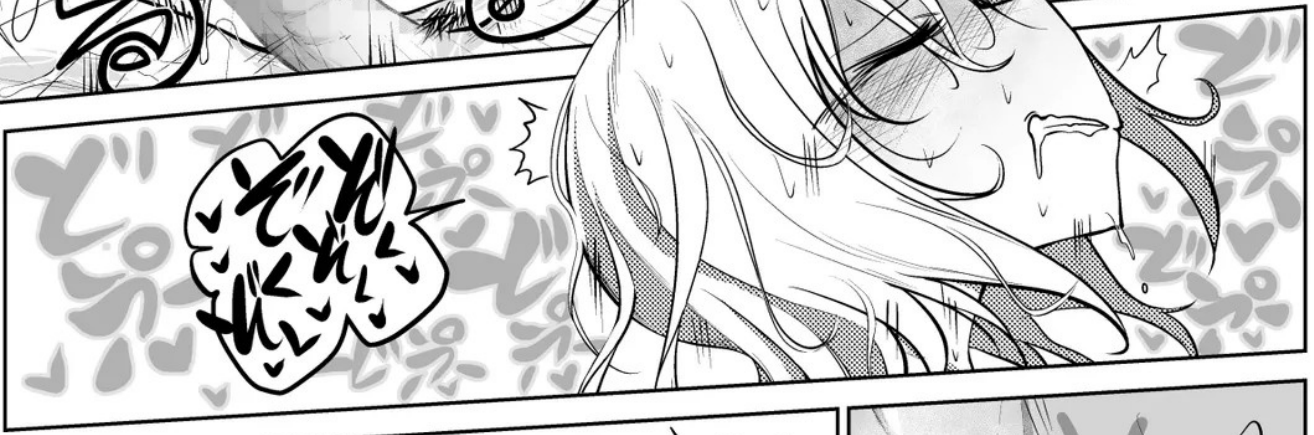
んちゅ♡

ちゅ♡

ん♡

ん♡

ん♡





えっ
えめあ!?



なんですかさ?

.....!!



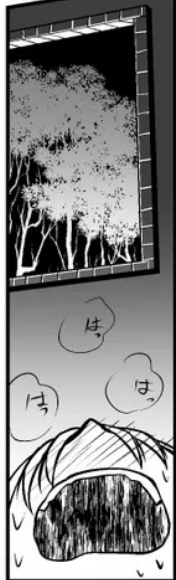
またイグツ
すずのくくる♡



一晩
保たな
かったか…

カカ
カカ
カカ

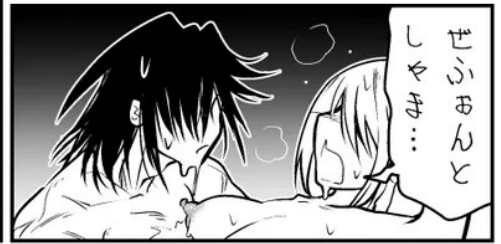
絶頂から
戻りにくく
なつて視界も
桃味がかつて
きた…





やつぱり
私一人じゃ…

もう受け止め
きれないか…



ぜんさんと
しやま…

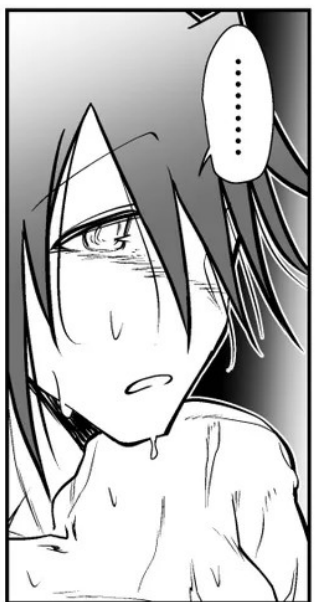
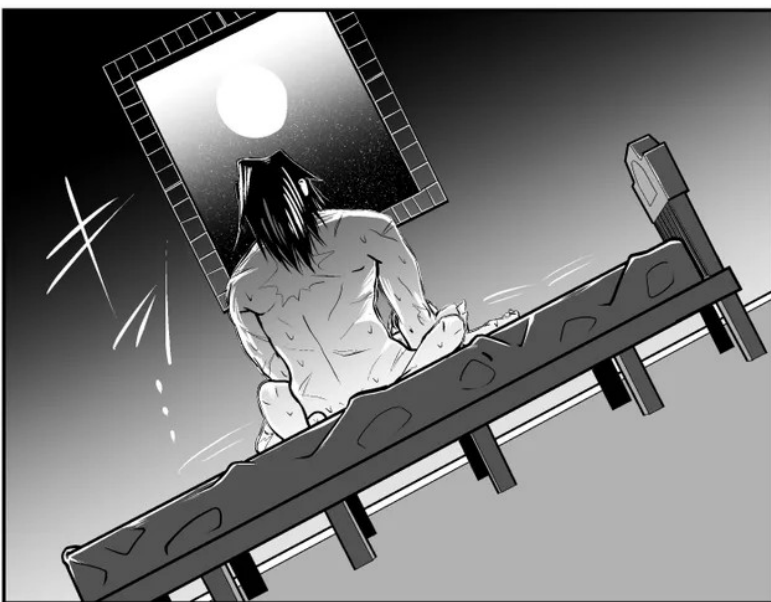
この部屋…
中からなら
いつでも
出れまひや…

私が落いたら
マリナー達のとこに
行ってくだひやい…



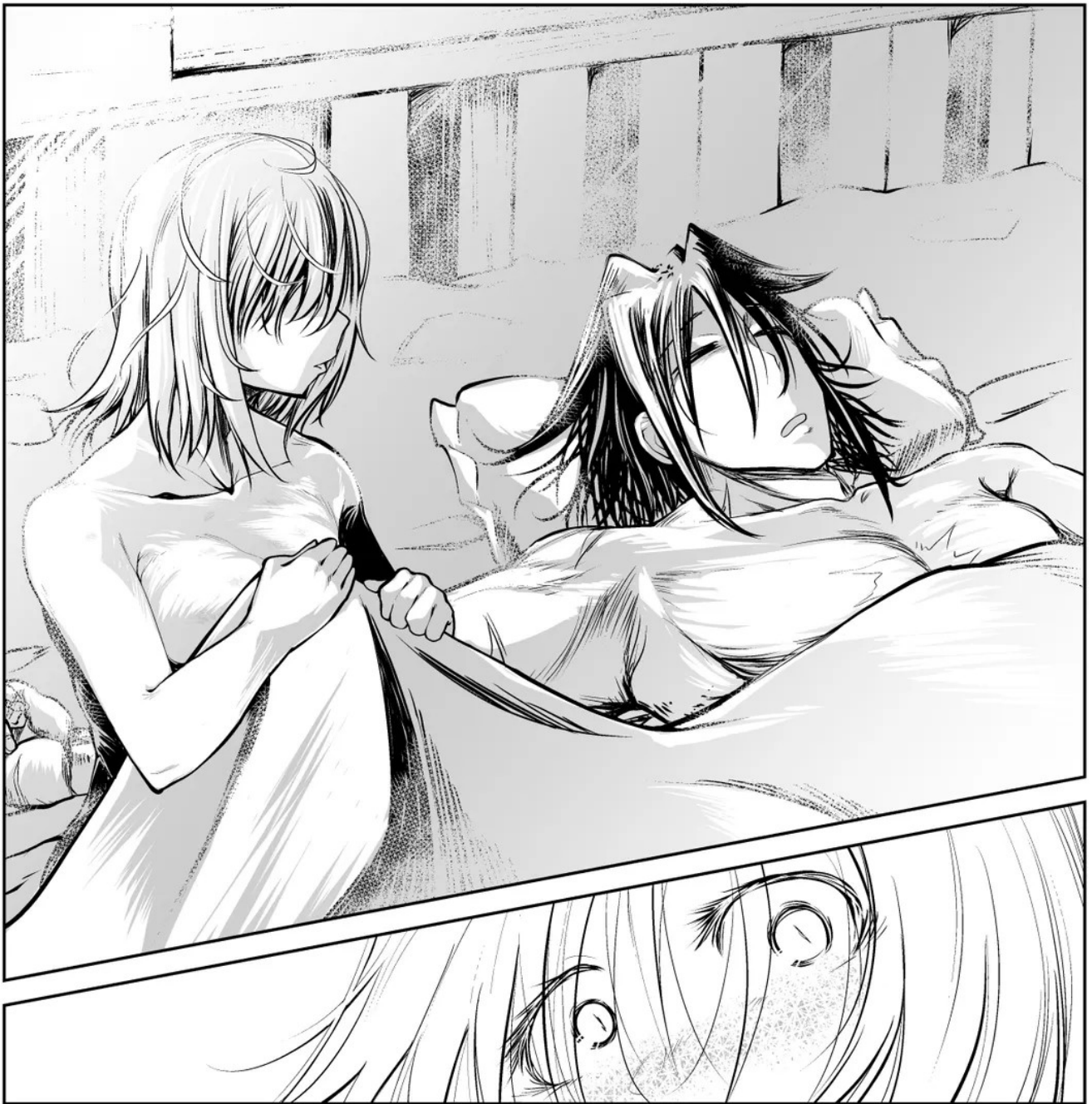
わかまわして

ごめんひやい…



……





つづく...

【救世】、神的存在を討つ



静寂の古龍、目覚める 鋭く尖った風が骨身に染みる季節、
ファッギン公国 王室で参考されている

【パドルファグ戦記写本】に、看過できない記述が浮かび上がった。公国領土で封印されている神的存在、【静寂の古龍メルセグニール】が覚醒したと。神的存在とは元始の世界から存在し、人類の安寧を揺るがす力を有する魔物である。【パドルファグ戦記写本】にもその存在は幾例か記載されており、一説によると【魔王クオ・ボルチアーメ】も神的存在であったとされている。長い歴史の間に、ほとんどの神的存在は滅んでいったが、【静寂の古龍】は古代の争いで封印され現在まで生き延びていたのだ。

抗うは【救世】の勇者

封印の跡バイオッツ山

【静寂の古龍】が封印されていた場所はファッギン公国北西のバイオッツ山である。生ける伝説である【救世】の勇者が残した、この遺跡の傷跡を一目見れば死闘の激しさを肌で体験できること請け合いだ。新たに現れた観光の名所に、商人達の注目が集まっている。

事態を重く見た公国は、マグワインの館へと馬車を走らせた。勇者一行はこれを快諾、装備を整え【静寂の古龍】の封印へと向かう。三日三晩の死闘の末、【救世】の聖剣が古龍の眉間を貫き、怒れる神を鎮めた。【救世】の勇者が健在の内は、ファッギン公国の平安は揺らぐことはないだろう。



奥付

発行：Verみみずく

発行者：こみずく

発行日：2023/6

twitter：@C0mizk

◇本作品はフィクションです。

実在の人物・団体・事件などには
一切関係ありません。

◇本作は成人向け書籍です。

18未満の閲覧、購読を禁じます。

◇本作を無断で転載・複製・配信・送信
する等を禁止します。